

# 広島・大道(八学大出)、元楽天・青山(八戸大出) 八戸で野球教室

## プロの技術 児童に伝授



プロ野球広島の大道温貴投手(左)からボールの握り方を教わる児童。12日、八戸学院室内練習場

プロ野球広島の大道温貴投手(28)は八学大出で、楽天の元投手青山浩二さん(38)は八戸大出を講師に招いた野球教室が12日、八戸学院室内練習場で開かれ、八戸市内の学童軟式チームなどの小学生約50人がプロの技術を学んだ。

教室は、八学大が市の委託を受けて昨年度から実施している「八戸学院スポーツアカデミー・クリニッ

ク」の一環。今回は同大の正村公弘監督が大道投手、青山さんに指導を要請して実現した。

会場では、児童がランニングやキヤッチボールで体をほぐした後、打撃練習や投球練習などに取り組んだ。大道投手は「威力のあるボールを投げるには、軸足にしっかり体重をかけることが大切」「バットの芯でボールを捉えるように」などと

アドバイスしていた。市立桔梗野小4年の荒木凌史朗君(10)は「チームで投手をしているので、学ぶことが多かった。将来は2人のようなプロ選手になりたい」と興奮気味に話した。

大道投手は「八戸からプロ選手が出てくれればうれしい。自分で自分を磨いて努力してほしい」とエールを送っていた。(上村公徳)

## 大道「1軍で多く投げたい」



来季の飛躍を誓う大道温貴 =12日、八戸市

### 一問一答

プロ野球広島でルーキーイヤーを終えた大道温貴(八学大出)が12日、野球教室の講師として八戸市を訪れた。今季の課題、今後の抱負などを聞いた。

―聞き手・上村公徳  
―今季を振り返って。  
中継ぎや抑えて起用され、勝ち試合も負け試合も投げた。2軍も経験し、気持ちの持ちようや試合に臨むまでのペースを学んだ。1軍では4勝4敗という結果。納得の成績ではない。

―投球フォームに苦しんだ。  
序盤は通用していたが、シーズン途中から、体に疲労がたまり、ころころとフ

―来季への抱負は。  
先発などの役割にこだわらず、とにかく自分の調子を上げていきたい。どの役割でも活躍できるように準備していく。けがに注意しながら、まずは1軍戦で多く投げられれば。

### 略歴

おおみち・はるき 1999年1月生まれ。埼玉県川口市出身。八学大卒。2021年、広島に入団。150センチ超えの直球とスライダーなど多彩な変化球を武器とする右腕。今季は1軍で24試合(53回)に登板し、防御率4・75。180センチ、80キロ。右投げ右打ち。